

日本青年作家會田慶佐氏著「日本」の各章にわたつて詳細な批評を試みることは、或は日本人諸氏にとつて倦怠を覚えしめはせぬかと、私は心ひそかにおそれて居る。何故ならば、著者の國籍や、著者の知識の快味、精神の高揚し決定的ならしめつつ、著者は國際親善の上に立つて、一つの廣汎な仕事の端緒を興へたと言つてよい。その仕事の興へた收穫と價値そのものが、何れ程の深み、何れ程の擴りを持つものであるか、著者の有つづら人の爲めに書かれたものであり、日本人諸氏にとつては、吾々の歴史的事実も、嘆賞に値する各種の文化も、あまりに馴染み深いものであるから。

乍然、私はたゞ、本書を、受けた印象のまゝに、正しいと信じたまゝに、批評して見たい。

そして、著者會田氏の周到な著作が持つ文學上の特質を、如何に有効に吾々ブラジル人に知らしめて與れたか、それを日本人諸氏にお知らせすれば足ると信じる。私に此の貴重な紙面を割いてくれた古い親しい友人に感謝を聞きながら居る出了るものだと思ふ。

既に現在にあつては、サンパウロは、日本との友誼の上に、はれる。従つて私も日本の歴史に關し本書を通じて語るべき多大なる功業を怠らない。私の興味は、遠く海を隔て、極めて異なつた故に、風俗習慣を持つ、物語と詩との幻影にみちた國と人とは、遠く海を隔て、極めて異なる。

日本と之の眞正な姿のまゝに諷らんと欲するものである。

日伯兩國民の一層良き理解の影響、其他の車に於ては、ブラジルの精神と教養によって、此に直撃する所へ到達せられたのであり

(一)

著者會田慶佐氏著「日本」の各章にわたつて詳細な批評を試みることは、或は日本人諸氏にとつて倦怠を覚えしめはせぬかと、私は心ひそかにおそれて居る。何故ならば、著者の國籍や、著者の知識の快味、精神の高揚し決定的ならしめつつ、著者は國際親善の上に立つて、一つの廣汎な仕事の端緒を興へたと言つてよい。その仕事の興へた收穫と價値そのものが、何れ程の深み、何れ程の擴りを持つものであるか、著者の有つづら人の爲めに書かれたものであり、日本人諸氏にとつては、吾々の歴史的事実も、嘆賞に値する各種の文化も、あまりに馴染み深いものであるから。

乍然、私はたゞ、本書を、受けた印象のまゝに、正しいと信じたまゝに、批評して見たい。

そして、著者會田氏の周到な著作が持つ文學上の特質を、如何に有効に吾々ブラジル人に知らしめて與れたか、それを日本人諸氏にお知らせすれば足ると信じる。私に此の貴重な紙面を割いてくれた古い親しい友人に感謝を聞きながら居る出了るものだと思ふ。

既に現在にあつては、サンパウロは、日本との友誼の上に、はれる。従つて私も日本の歴史に關し本書を通じて語るべき多大なる功業を怠らない。私の興味は、遠く海を隔て、極めて異なつた故に、風俗習慣を持つ、物語と詩との幻影にみちた國と人とは、遠く海を隔て、極めて異なる。

日本と之の眞正な姿のまゝに諷らんと欲するものである。

日伯兩國民の一層良き理解の影響、其他の車に於ては、ブラジルの精神と教養によって、此に直撃する所へ到達せられたのであり

(二)

著者會田慶佐氏著「日本」の各章にわたつて詳細な批評を試みることは、或は日本人諸氏にとつて倦怠を覚えしめはせぬかと、私は心ひそかにおそれて居る。何故ならば、著者の國籍や、著者の知識の快味、精神の高揚し決定的ならしめつつ、著者は國際親善の上に立つて、一つの廣汎な仕事の端緒を興へたと言つてよい。その仕事の興へた收穫と價値そのものが、何れ程の深み、何れ程の擴りを持つものであるか、著者の有つづら人の爲めに書かれたものであり、日本人諸氏にとつては、吾々の歴史的事実も、嘆賞に値する各種の文化も、あまりに馴染み深いものであるから。

乍然、私はたゞ、本書を、受けた印象のまゝに、正しいと信じたまゝに、批評して見たい。

そして、著者會田氏の周到な著作が持つ文學上の特質を、如何に有効に吾々ブラジル人に知らしめて與れたか、それを日本人諸氏にお知らせすれば足ると信じる。私に此の貴重な紙面を割いてくれた古い親しい友人に感謝を聞きながら居る出了るものだと思ふ。

既に現在にあつては、サンパウロは、日本との友誼の上に、はれる。従つて私も日本の歴史に關し本書を通じて語るべき多大なる功業を怠らない。私の興味は、遠く海を隔て、極めて異なる。

日本と之の眞正な姿のまゝに諷らんと欲するものである。

日伯兩國民の一層良き理解の影響、其他の車に於ては、ブラジルの精神と教養によって、此に直撃する所へ到達せられたのであり

評論

評

會田慶佐著

江見清鷹譯

Alvaro de Campos

各種投票
萬歡迎
します各種投票
萬歡迎
します

